

STAX



SRプロシリーズに SR- α proと SR-X/MK-3proが 新登場。

新しいアダプターSRD-7/MK-2とのコンビで使い易さも倍増。

SR- α proシステムも1.5μm振動膜採用。

評判のProシリーズ第1号SRラムダproもSR- α pro, SR-X/MK-3pro開発時のノウハウを採り入れ1.5μm厚振動膜を採用。低域から高域までの透明度、解像力に一段とみがきかかりました。ドライバユニットSRM-1/MK-2proも内部配線にLC-OFC線を採用し、ディストーションレス抵抗やVRをとり入れ、Aproとの組合せはもちろんSR- α pro, SR-X/MK-3proと組合わせても使いいまだけます。(ノーマルバイアス出力端子も装備。)



西独ダイムラー・ベンツ社の要望により、自動車のノイズ分析用として開発されたSRラムダプロフェッショナルシステム。それはSR- α の発音ユニットの改良と、バイアス電圧の高圧化によって実現されました。

その音のすばらしさはオーディオマニアからレコーディングニア、評論家、アンプ設計者、レコード会社、図書館と聞くのあらゆるオーディオファイルの方々に広まりつつあります。この優れた技術を応用し、さらにみがきをかけて新たに開発したのがSR- α proでありSR-X/MK-3proそしてアダプターSRD-7/MK-2であります。SR- α proはSR- Σ (シグマ)に始まりで完成度を高めたケージ・コンストラクション(鳥かご構造)にリファインし、オープンバック方式ならではの開放感の詰びのびした音を、さらにこれまでの4分の3の1.5μm厚振動膜を採用する事により一層の透明度を加えて完成されました。

SR-X/MK-3pro ¥27,000



(SR-X/MK-3pro及びSR- α proにも1.5μm振動膜を採用)これらのプロシリーズ、イヤースピーカーを使う為のアダプターSRD-7/MK-2が登場。シグナルトランジスタの巻線に今話題のC-OFC線を全面採用し、音の解像度を大幅にアップ。シャーシを徹底的に非磁性化し、音の“にごり”を排除。バイアス路の素子にも新型のデバイスを採用し、使いやすいスピーカー端子を付属させての発売です。(これまでのSRシリーズがお手頃な価格で購入できる様Normalコンセントも装備。)

スタックス工業株式会社

〒351 地主県入間郡三芳町上富430 ☎0492-58-3988㈹
東京試聴室(毎月第2、第4日曜日PM2:00から開いております。
ご連絡のうえお越し下さい。☎03(981)7227)

カタログご希望の方はスタックス工業株式会社へ